

# 無料セミナー：訪問実施します - 御社で、コミュニティで a-anezaki@cd.jp.nec.com まで、ご相談ください

■ タイトル：OSSライセンスと著作権法のポイント ～正しいOSSライセンスの理解の仕方～

■ 時間：2時間 - 1時間超のセミナー、サービス紹介と質疑応答 (1-2名から数十名でも可)

■ 講師：NEC OSS推進センター 姉崎 章博

■ スライド概要 参考テキスト：[https://jpn.nec.com/oss/osslic/doc/20181027\\_OSC\\_TokyoFall\\_16up.pdf](https://jpn.nec.com/oss/osslic/doc/20181027_OSC_TokyoFall_16up.pdf)

- ・フリーソフトウェアとOSSの概史
- ・OSSライセンスはどんな条件が書かれているのか
- ・OSSライセンスとソフトウェアライセンス(ex.EULA)との違い
- ・2009年12月、14社がGPL違反で提訴された <http://japan.cnet.com/news/biz/20405353/>
- ・著作権も「ものへの支配権」の一つ
- ・「訴訟リスク」とか言う人がいるが、それ以前に…犯罪
- ・実は、著作権を理解しなければ、OSSライセンスは理解できない
- ・GPLv2 第3条の読み方 <http://www.opensource.jp/gpl/gpl.ja.html>
- ・GPLを契約/義務と勘違いしたメーカー対応
- ・GPLは契約ではないならば、何か？ <https://fsfe.org/campaigns/gplv3/barcelona-moglen-transcript.en.html>
- ・Stallman氏が、GPLを、契約法に基づかせない理由 <http://www.gnu.org/philosophy/no-ip-ethos.html>
- ・OSSライセンスと著作権法は、理解しよう <http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/kyozai.html>
- ・文化庁サイトに「著作権に関する教材」無料 <http://e-hon.tameshiyo.me/9784844337973>

■ 無料の理由：企業・コミュニティ・弁護士問わず、都市伝説が蔓延。

一度聞いてもらわないと、有償の価値をわかってもらいにくいため。

# GPLの伝播の誤解は、著作権の理解から積み上げてから

## ■OSSライセンスと著作権法 講義(5H)

第1章 OSSは一般に他人の著作物

第2章 著作物の「利用」とは「著作権の行使」

第3章 ライセンス違反は著作権侵害

第4章 著作権行使の許諾と理解して  
各OSSライセンスの条文を読む

第5章 **結合著作物**に関する詳細と新たな問題

第6章 基本的な対策例

著作物・著作権が  
どういうものか  
理解いただいてから、

著作権行使の  
ライセンス  
として見ると、  
何が記述されている  
のか理解できる

補遺 GPLv3について など

補遺2 体制例

1回5名まで30万円, 10名まで40万円, 20名まで50万円  
御社の会議室に出向いて講義します。

- 基本5H(AM2H/PM3H, 補遺の説明なし), 100ページ超のテキスト
- ※ご希望により、ゆっくり7Hで、急いで4Hも可能です。(費用変わらず)  
7H(1日目PM2H, 2日目AM3H/PM2H, 補遺の説明あり)/4H(PM4H, 補遺の説明なし)

次回、2019年3月8日(金) NEC本社で実施。

詳細は、<https://jpn.nec.com/oss/oss/c/> 掲載PDF参照

一人8万円の公開(公募)セミナーの開催も可能

•他社と同席、補遺テキスト無し、短縮4.5H

# OSSライセンス・コンプライアンス コンサルティング

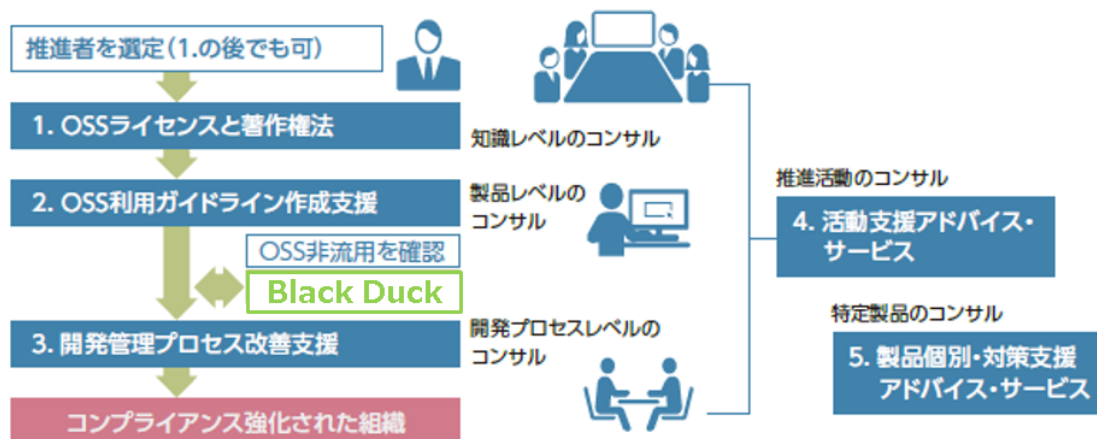
OSSライセンスの講義や、OSS利用ガイドラインの作成支援、さらに、それらを取り込む品質・開発管理プロセスの改善支援、製品での対策支援アドバイス等をいたします。

## ■ コンサルティング

<https://jpn.nec.com/oss/ossic/>

1. OSSライセンスと著作権法 講義	「なんとなくしか知らなかったGPLが目から鱗」と好評な著作権法からOSSライセンスを正しく理解するための講義です
2. OSS利用ガイドライン作成支援サービス	具体的な製品とOSSを調査したケーススタディを用いて、OSSライセンスの正しい理解のガイドラインの作成をご支援します
3. 開発管理プロセス改善支援サービス	開発または品質管理システムにチェックポイントを組み込み、統制の取れた開発管理・品質管理標準の改善をご支援します
4. 活動支援アドバイス・サービス	御社の特定のOSSライセンス・コンプライアンス活動に対して、年間を通じて、アドバイスをご支援するサービスです
5. 製品個別・対策支援アドバイス・サービス	御社の特定の製品に対して、目視あるいはツールを利用した結果、認識されたOSSライセンス違反に対して、アドバイスを提供します

### OSSライセンスの コンプライアンスの推進ステップ



# OSSコード検出・セキュリティ対策ツール Black Duck

製品単位で利用しているOSSを可視化し、脆弱性やOSSライセンス違反などのリスク対策を、開発から運用までライフサイクル全般に渡り支援します。

- 製品に含まれるOSSを高速に自動特定、脆弱性やライセンス違反リスクを平易なUIで可視化。
- 製品リリース後に新たに発覚した脆弱性情報は、影響のある製品の担当者へ迅速に通知。
- 従来製品（Black Duck Protex）で検査済みの過去資産を容易に移行。

